

Your Library

立教大学図書館だより

No.35

2016.1.25

WINTER ISSUE

ISSN 1883-1303

 図書館
 ワークショップ
 開催報告号

2015年度 貴重書ツアー

11月28日土曜日、ワークショップ第二弾として『貴重書ツアー』が開催されました。

今年で5回目となりますが、8名の参加者の皆さんは、非常に貴重な資料の数々を前にして、講師の専門的解説に驚きと感嘆の声が幾度となく聞かれるほど、熱気あふれるツアーとなりました。その一部となりますが、当日の様子をレポートします。

期待と緊張の面持ちで集まった参加者の皆さんは、池袋図書館2階の講習会室で貴重書の取り扱い方などの説明を受けたのち、いよいよ地下2階の貴重書庫(古典籍收藏施設)に向かいました。普段は係員以外立ち入ることのできないエリアです。重厚な書庫扉の先には、部屋一面が無節の杉板とブナ材に囲まれ、24時間温湿度管理された空間が広がり、稀少な資料が迎えてくれました。

この二層からなる貴重書庫には、貴重書・準貴重書約2800冊、江戸川乱歩旧蔵資料約3500冊が配架されています。特別な空間にある特別な資料との出会いに、参加者一同ある種の感動を覚えたことでしょう。貴重書庫内では、図書館職員小泉氏からの



貴重書庫内

案内を受けつつ、竹取物語 貼交屏風、竹取物語絵巻、源氏物語画帖、夏目漱石『吾輩は猫である』川端康成『雪国』初版本、樋口一葉自筆原稿『詠草』、太宰治草稿『人間失格』などを手に取る事ができました。

次に、前室内のテーブルに古典籍のオークション会場さながらに並べられた、大変貴重な洋古書について小泉氏より解説を受けました。まずは、2015年度新収の『庄司浅水旧蔵コレクション』より「グーテンベルク四十二行聖書」(複製)、続いてトマス・ア・ケンピス『Opera (著作集)』、『英米盲人の為の聖詩篇』の解説を受け、続く古代エチオピア語で羊皮紙に書かれた「ゲエス語 肉筆聖書物語」の解説後に全員の手が一齐に伸び、譲り合いながらも貴重な羊皮紙の感触を目で楽しみ、指でも味わいました。また、宣教師時代の立教

に本邦では最も初期に持ち込まれた「リールのニコラウス全聖書注解Vol.2」はインキユナブラと呼ばれる世界でも珍重される15世紀の活版印刷物ですが、その大きさは厚みに加え非常にあざやかな刷りに一同目を奪われていました。

最後は立教大学図書館の代表的な貴重コレクションである江戸川乱歩の旧蔵資料について、文学部兼任講師の丹羽みさと先生から説明を受けました。普段はなかなか見ることのできない和装本の数々に参加者の皆さんの目が一段



資料をのぞいている様子

と輝きます。講師の解説が進むとともに、参加者の皆さんも一層関心が高まり、講師と参加者の間で非常に活発な交流が生まれました。蔵書家として当時から高価だった資料をいくつも集めた乱歩ですが、これらと思う書物には乱歩自身の蔵書印を押していたことで、『本朝校陰比事』や『好色一代男』に押された乱歩印を一同食い入るように見つめていました。『大岡美談』『二子相伝極秘巻』『若衆物語』などの解説とともに、大きさと厚さの割には重量が軽いと説明に、実際に自分の手に取って確かめることができたのも今回のような機会ならではと見えるでしょう。

通常であれば、実物を閲覧すること自体が難しい貴重書ですが、目にして、そして自身の手に取り、その重さや紙質そして肉筆までも直に触れながら感じ取る事ができた貴重な機会となったこの企画、併行して「資料保存と教育・研究支援の両立」の観点から立教大学では貴重書のデジタル化を進めています。今回ご紹介した資料の一部にはなりますが、図書館ホームページ内「デジタル・ライブラリー」でも紹介しています。
<http://library.rikkyo.ac.jp/digitalibrary/>
 また江戸川乱歩の旧蔵資料については「旧江戸川乱歩邸 公開記念サイト」
<https://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/profile/facilities/edogawarampo/> もご利用いただけます。

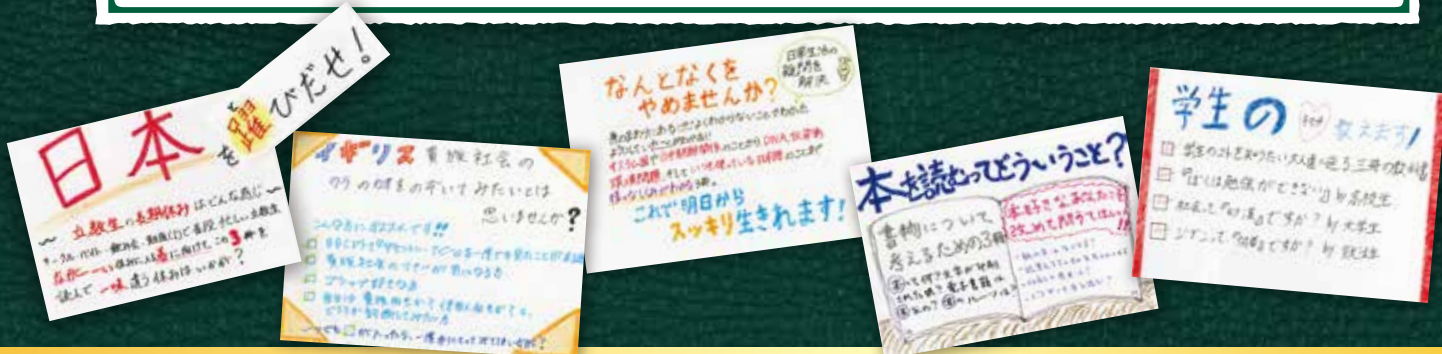


乱歩印部分



講師の説明の様子

ブックハンティング 2015



みなさんは、自分が読む本をどのように選んでいますか？「自分の興味がある分野から選ぶ」「好きな作家の著書を読む」「話題になっている本はとりあえず読んでみる」など、いろいろな方法がありますね。

今年で5回目となる図書館ワークショップ「ブックハンティング」は、誰かに「この本を読んでみませんか？」と薦めるために、自分で考えたテーマに沿って3冊の本を選ぶ、というプログラムです。選んだ本は、図書館で来館者に向けて展示されます。

今回、参加して下さった学生は5名。会場はジュンク堂書店池袋本店です。地下1階から地上9階まで、あらゆる分野の書籍を取り扱う大規模書店です。本を選ぶ制限時間は1時間しかありませんが、無事、全員が時間内に3冊の本を選び終わることができました。

さて、「ブックハンティング」は本を選んで終わり、ではありません。図書館で展示する時に、選んだ本をオススメするための「POP」を作るワークショップを行います。ジュンク堂書店営業本部の大内さんから「POPの作り方ミニ講座」として、POPという媒体の特徴、特に書籍をPOPでPRする場合の注意点、色やフォントの使い方、プロ書店員の皆さんによる傑作POP、という懇切丁寧なご説明をいただきました。

さあ、いよいよPOPを作成します。参加者の皆さんは、すぐに押し黙り真剣な表情で色鉛筆やマーカーを手にして作業に没頭します。POPの大きさはわずかB6サイズ。この小さなスペースで、どうすれば見た人を引き込むことができるか、自分が選んだ本に親しみを持ってもらえるか、考えたテーマに興味を持たせることができるか。内容、色使い、デザイン、考えている間にどんどん時間は過ぎていきます。

1時間のあと、参加者それぞれの個性がよく発揮された、華やかな5枚のPOPが完成しました。各自の考えたテーマと選んだ3冊の本、POP作成で工夫した点などについて説明する機会が設けられたあと、いよいよ講師大内さんの講評です。

「今回はみな水準をクリアしている」「レベルが高い」というお褒めのお言葉をいただき、一同ほっと一息です。しかし、スペースの使い方やより主張、焦点を絞るべき点、色使いなど「さすがプロ」という視点で改善点を指摘していただき、参加者のみなさんは納得顔でした。最後は自分のPOPを手にして記念写真を撮影し、なごやかに終了しました。

皆さんも書店のPOPを読んで、本を選んでみてはいかがでしょうか。今までの関心や趣味の範囲では気づかなかった、新たな世界がきっと広がると思います。そんな偶然の出会いこそが、ネットにはない書店の特別な魅力なのです。



間に合った!



真剣..



POPで紹介された本は大人気! 館内閲覧、貸出とも盛況でした。



<http://library.rikkyo.ac.jp/>

Your Library 第35号 (通号94) 発行日 2016年1月25日

編集 小林 憲太郎 (図書館副館長)
 発行人 豊田 由貴夫 (図書館長)
 発行 立教大学図書館

<http://library.rikkyo.ac.jp/>
 連絡先 TEL 03-3985-2628
 印刷 立教プリンティングステーション